

令和2年度 学び舎ひまわり 第2講 開催報告

日 時: 令和2年 10月 24日(土) 12時 30分 ~ 16時 30分

会 場: 区役所6階 601・602・603号 会議室

受講生: 19名(地域 14名、区役所5名)

令和2年度学び舎ひまわりが開校しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、例年5講だった回数を4講とし、あわせて各地域より2名ずつだった参加を1名での参加としました。

また、第1講は残念ながら悪天候のため中止となったため、第2講は開校式も兼ねて行うことになりました。

プログラム内容

第1部 開校式

藤田校長あいさつ



学び舎ひまわりは、平成25年に開校し、今年で8年目を迎えます。協働の地域づくりをいかにして進めていくか、受講生がお互いに情報交換をしながら学んでいただくことが大きな狙いです。今回受講された内容については、各地域に持ち帰っていただき活動に活かしていただきたいと思います。

出会いは人を作り、人間を成長させると言います。今回の出会いを大切に、仲良く楽しく、学び舎ひまわりで学んでよかったと感じていただけたらと思います。

体に気をつけて頑張ってください！

高森名誉校長あいさつ



港南区は長年にわたり「協働による地域づくり」を柱に地域づくりを進めてきました。私が「協働による地域づくり」を進める上で一番大切だと思っていることは、『地域で出来ることは先ず地域の人たちが協力して行う。そして、地域で出来ない部分を行政に担ってもらう』、この考えを基本として地域づくりを進めることです。

近年大地震の発生が危惧されていますが、いざという時に助け合える関係作りは、「協働の地域づくり」の原点です。「学び舎ひまわり」を受講される皆様におかれましては、卒業後、この協働を実践する地域の人材として活躍されることを期待しています。

内海 宏氏 講義「港南区の地形上・歴史上の特性、まちの成り立ち」



その土地にある地形的、歴史的背景を知った上で、現代の生活を取り巻くいろいろな課題を意識し、誰もが安心安全に生活できるまちづくりをソフト面、ハード面の両方からしていけるといいと思います。

新たな課題を皆さんの力で解決していくために、その地域ならではの住みよい環境を作り、みんなで協力して様々な取組に挑戦していくことがこれからのまちづくりには大切です。

《事例発表》

サポート9の活動 ～野庭団地第9自治会～

○発表者：大久保 展代 氏

東日本大震災の教訓を活かし、災害時に住民同士が助け合えるよう同じフロアごとの話し合い「フロアミーティング」を開催。情報共有や具体的な支援体制などについて話し合う機会とした。その後区役所と協定を結び要援護者名簿の提供を受け、支援を希望する人の情報は、本人了承の上、フロア全員で共有した。

サポート9の一連の活動は、情報共有が進むとともに、日ごろのちょっとした助け合いにもつながり、何気ない支えあいが進んでいる。

受講生からの意見

- ・班、組単位でのお茶会をやってみたいと思った。
- ・震災の後にすぐに行動されたことがよかったと思う。
- ・住んでいて安心できる団地と感じる。



『農』で地域のつながり作り ～さつき台自治会～

○発表者：林 金吾 氏 ・ 鬼塚 昭政 氏

区の事業に応募し、市有地で畑作業を展開した。日頃外に出てこない方などの参加もあり、顔を合わせることで緩やかな見守りにもなっていた。収穫物は夏祭りのカレーライスや運動会、食を使ったイベントなどで使用した。いろいろな方の参加がありにぎやかだった。

なお、この活動は 20 年続いた活動であったが、メンバーの高齢化が進んだことで令和2年6月に終了している。

受講生からの意見

- ・できた作物を自分たちで分けるのではなく、地域全体で活用したことが良かった。
- ・楽しそうで、参加したくなるイベントが良い。
- ・子どもから高齢者までたくさんの人が参加する活動で良かった。



福祉体験会、学校との連携、自治会活動への思い ～東芹が谷町内会～

○発表者：磯田 巧 氏

「現役で働いている自分が地域で出来ることは何かあるだろう。」と思い、野球をきっかけとして町内会とつながりを持ち今に至っている。

また、子ども達を連れて障がい者施設を見学したり、町内主催の運動会に施設の利用者を招待するなど、障がい者と住民との壁をなくそうと様々な活動をしている。

地域の活動は中途半端に取り組むと愚痴しか出ないが、真剣に取り組むことで知恵が生まれると思う。

受講生の意見

- 全てに積極的に行動されている。次世代にもそれがつながっているように見えた。
- 障がい者施設との交流が自然に出来、障がい者とふれあう機会となる。
- 地域からの反対や差別が起こりがちなことに前向きに取り組む姿が素晴らしい。



ひぎりにちようあそVIVA(ビバ)! ～ひぎり連合子ども・青少年部会～

○発表者：丸岡 浩幸 氏

学び舎ひまわり受講中、マイプランとして作成したものを実現した取組。住みやすいまちにするには、顔見知りを増やすことが一番効果的と考え、毎月第3日曜日にケアプラザにて居場所を提供。スポーツができるテレビゲームや、ボードゲーム、カードゲーム、ボッチャなど、年齢関係なく、楽しめるよう準備している。

仲間を作ること、実施していることを知らせること、活動を続けることを大切に、連合やケアプラザの協力を得て活動している。

受講生の意見

- 子ども会でやってみたい。大変参考になった。
- 発想や着眼点がいいと思った。
- 活動のリピータになってもらうことはとても難しいと感じる。



※丸岡さんにはウェブ会議にてご参加いただきました。

学びのまとめ 集計結果

回答数 18件 / 回収率 94.7%

| 満足 | やや満足 | やや不満 | 不満 |
|-------|-------|------|----|
| 15 | 3 | 0 | 0 |
| 83.3% | 16.7% | 0% | 0% |

【受講生の主な意見】

- 港南区のまちの成り立ちの講義が印象に残りました。様々な活動がある中で自分の地域に合う活動を見つけていきたいです。
- 事例発表では、実際に活動されている方々から、それぞれ活動の分野は異なりますが、工夫したこと、苦労されたことなどを熱く語っていただき、刺激を受けることができました。実際に活動している方の話を伺う機会は少ないので良い企画だと思いました。
- 他の地域の方とのグループ討議は良い情報交換になりました。第1講が台風で中止になってしまったのがとても残念でした。
- どんな良い活動しても知らせるといことがないと活動が広がらない。これが地域活動においては難しいと改めて感じました。モニターの件がスムーズにいくとよかったです。

